

2006年6月期 中間決算説明



夢をひとつに。

2006年2月20日

 **朝日インテック株式会社**

(証券コード：7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)

目 次

1. 2006年6月期(中間)決算の概要

2. 2006年6月期(通期)業績見通し

2006年6月期(中間)決算のポイント(連結)

- **売上高は前年同期比25.5%増と好調に推移**
 - 医療機器分野(メディカル事業、メディカルデバイス事業)の増収が主因
 - ・ 主力製品であるPTCAガイドワイヤーが海外市場を中心に伸長
 - ・ 国内市場では新製品のガイディングカテーテルが好調
 - ・ 医療用部材(ACT ONE、トルクコイルなど)、OEM供給品ともに好調
- **営業利益は前年同期比56.8%増、
経常利益も同74.6%増と大幅な増益**
 - 高付加価値製品の売上増加に伴う収益性の向上
 - 好調な売上に伴う増産効果、海外生産拠点の充実によるローコスト追求
- **通期(2006年6月期)の売上・経常利益見通しを上方修正**

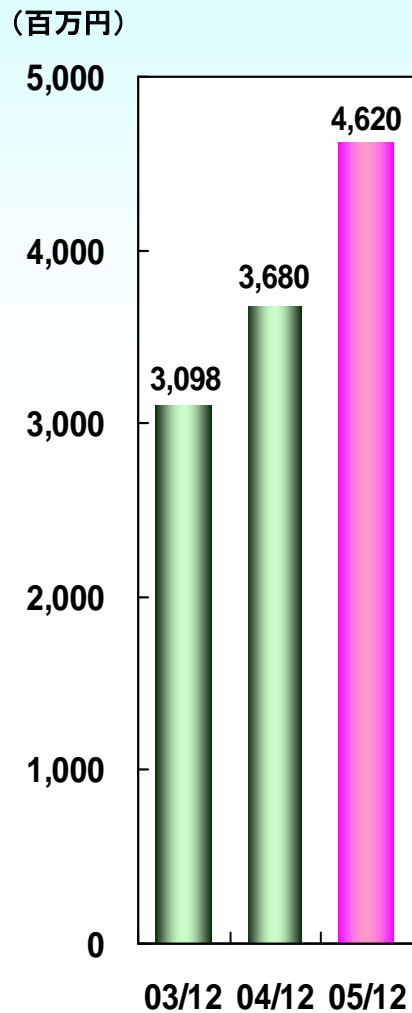
中間決算ハイライト (連結)

	2005年6月期 中間実績		2006年6月期 中間実績				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2005/8/18	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,680	100.0	4,213	4,620	100.0	+939	+25.5
売上総利益	2,053	55.8	-	2,680	58.0	+626	+30.5
営業利益	710	19.3	-	1,114	24.1	+403	+56.8
経常利益	644	17.5	713	1,124	24.3	+480	+74.6
当期純利益	404	11.0	423	673	14.6	+268	+66.4
EPS	57.02 円	-	-	42.50 円	-	-	-

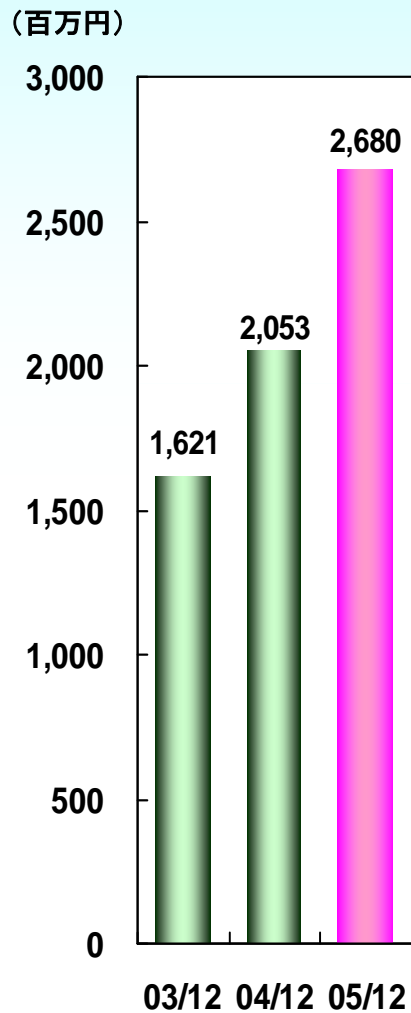
(注)期中平均株式数(連結): 2005年6月期中間 7,101,843株 2006年6月期中間 15,852,569株

大幅な増収・増益を達成

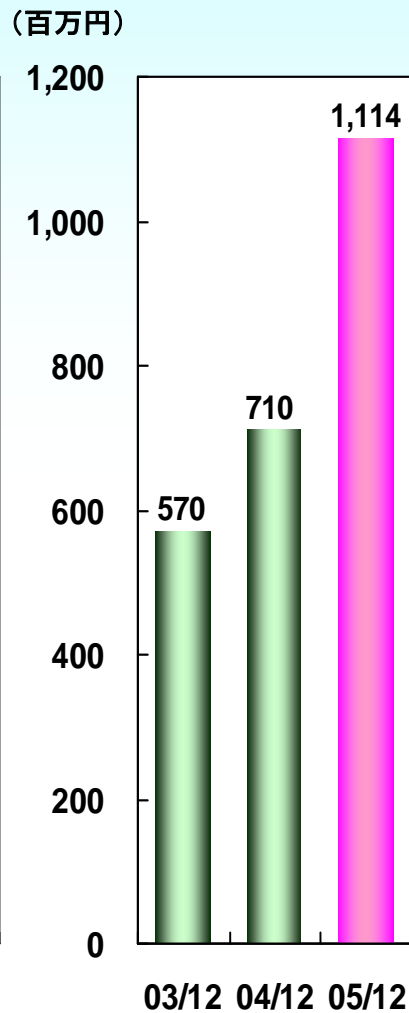
【売上高】



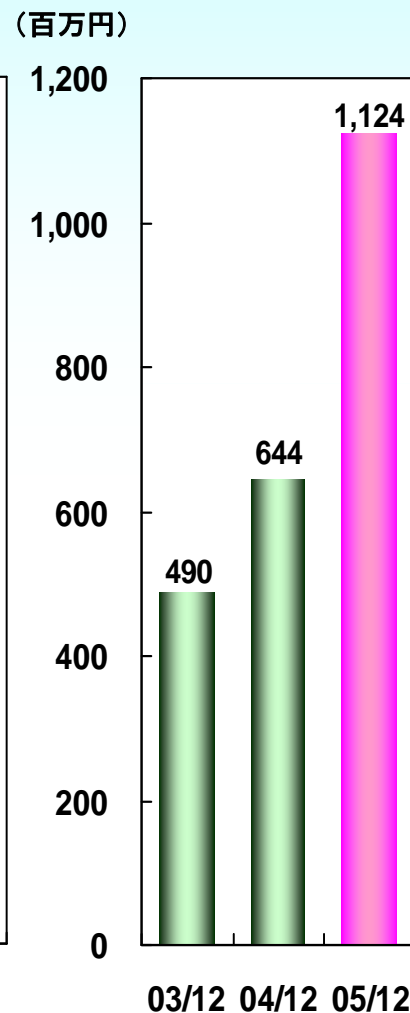
【売上総利益】



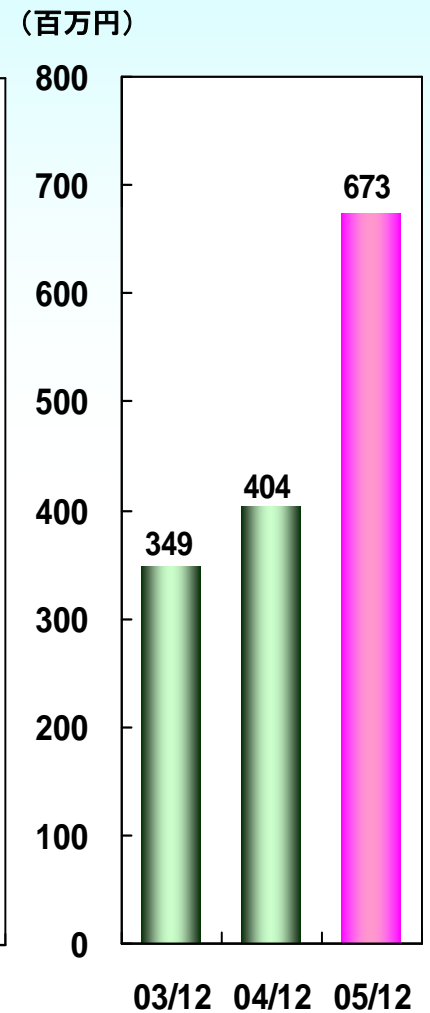
【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】



■ 前年同期比939百万円増
(+25.5%)

■ 前年同期比626百万円増
(+30.5%)

■ 前年同期比403百万円増
(+56.8%)

■ 前年同期比480百万円増
(+74.6%)

■ 前年同期比268百万円増
(+66.4%)

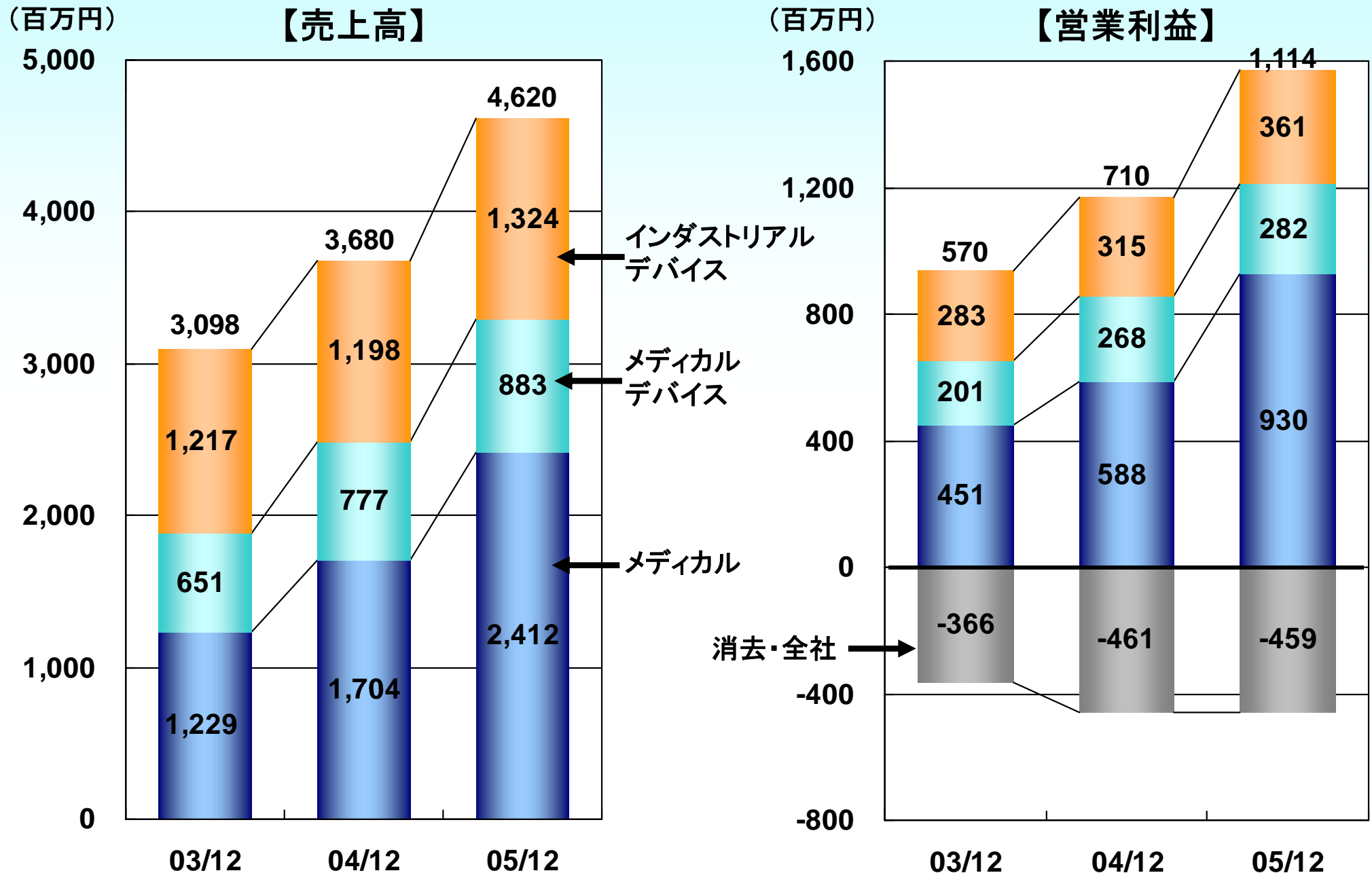
セグメント別売上高

	2005年6月期 中間実績		2006年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	1,704	46.3	2,412	52.2	+707	+41.5
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	777	21.1	883	19.1	+106	+13.6
〈医療機器分野〉	2,481	67.4	3,295	71.3	+813	+32.8
インダストリアルデバイス 〈産業機器分野〉	1,198	32.6	1,324	28.7	+126	+10.5
合計	3,680	100.0	4,620	100.0	+939	+25.5

セグメント別営業利益

	2005年6月期 中間実績		2006年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	588	50.2	930	59.1	+341	+58.0
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	268	22.9	282	18.0	+14	+5.3
<医療機器分野>	856	73.1	1,212	77.0	+355	+41.5
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	315	26.9	361	23.0	+45	+14.4
計	1,172	100.0	1,573	100.0	+401	+34.2
消去・全社	-461	-	-459	-	-	-
合計	710	-	1,114	-	+403	+56.8

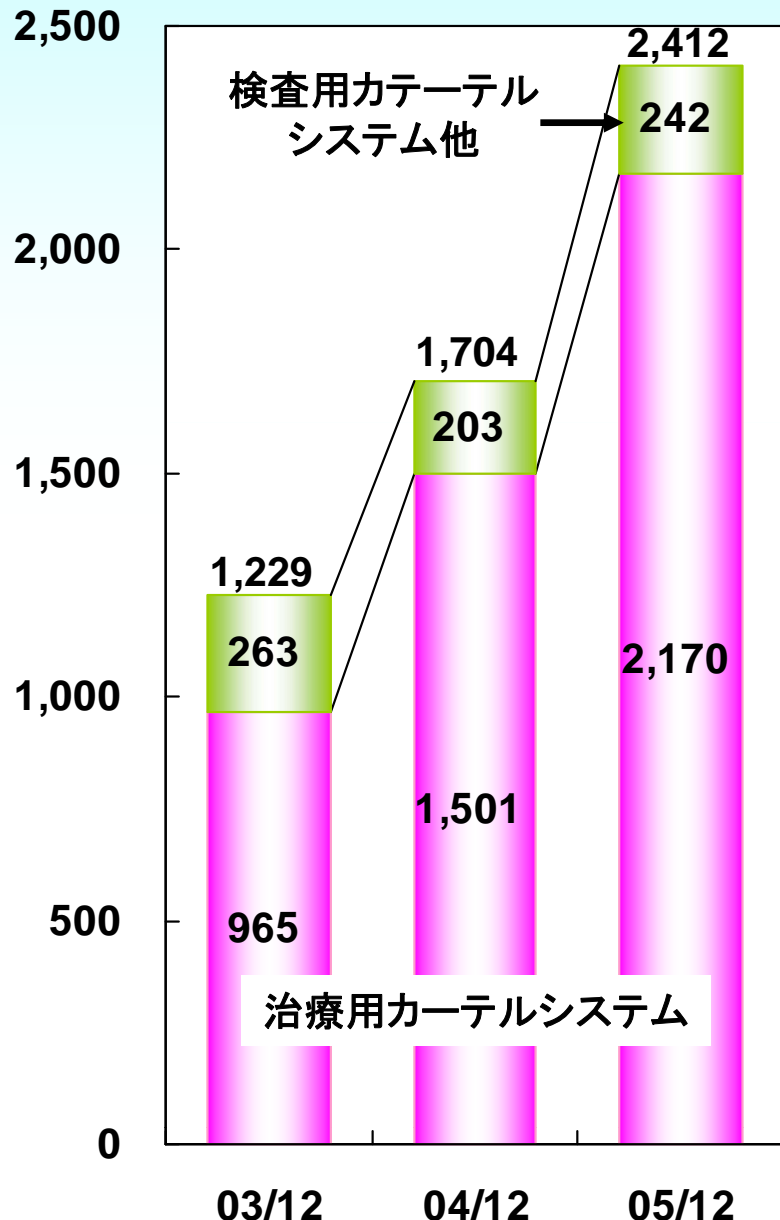
セグメント別の収益状況



メディカル事業の状況

(百万円)

【売上高】



～高付加価値製品の売上拡大が加速化～

《治療用カテーテルシステム》

- PTCAガイドワイヤー(前年同期比35%増)が牽引
 - 北米地域・欧州地域、更にはアジア地域を中心に受注は拡大傾向
 - 国内外の学会発表、プロモーション活動によりCTO治療も可能な製品優位性の認知度向上
 - 米国を中心に各国で薬剤ステントの普及が拡大これに伴い、PTCA治療件数は増加傾向
- 国内市場では新製品の市場投入が順調に進展
 - 新製品のガイディングカテーテルが好調

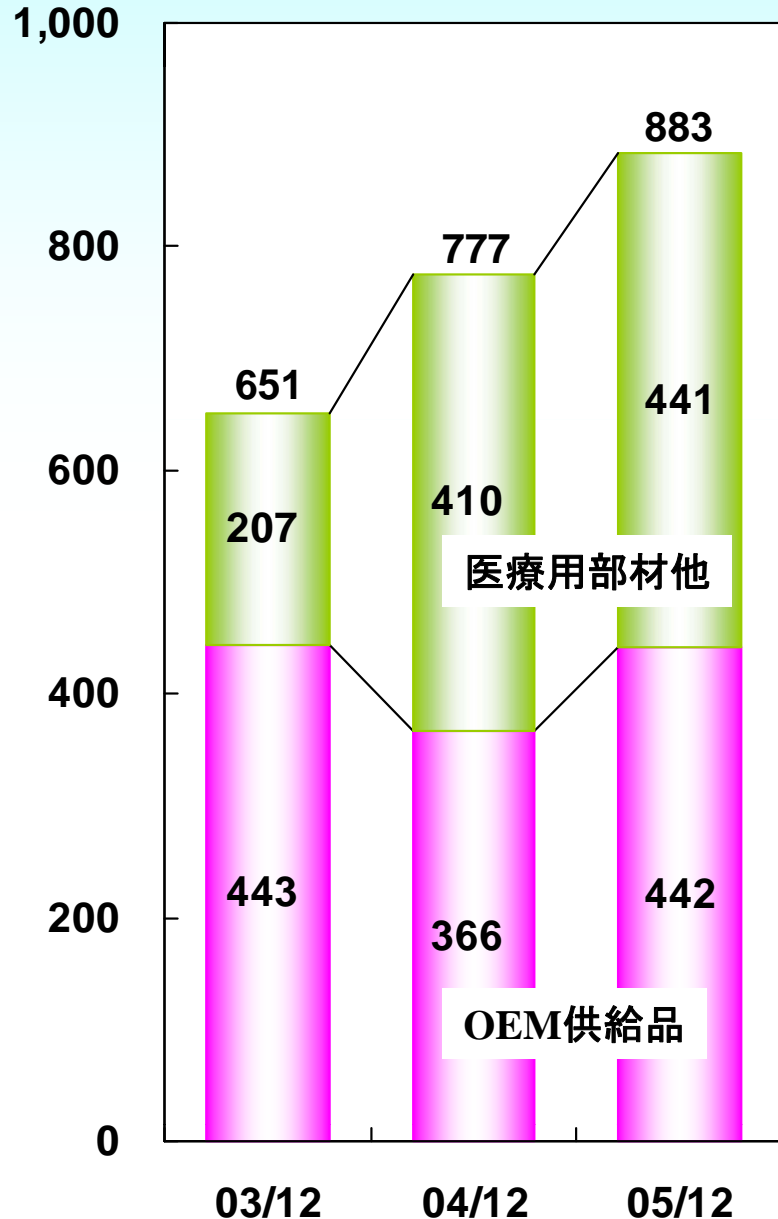
《検査用カテーテルシステム》

- 競合品との価格競争が激化するも販促強化により微増

メディカルデバイス事業の状況

(百万円)

【売上高】



～医療用部材、OEM供給品ともに好調～

《医療用部材》

■ 米国市場からの受注が拡大

- ケーブルチューブ「ACT ONE」が续伸
- 医療機器部材としての使用機会が増加
- 「血管内アレクトミーカテーテル」の重要部品として採用
- 当社トルク技術製品(トルクコイル)の受注増加

■ 国内向けの内視鏡関連商品は不調

《OEM供給品》

■ 国内大手医療機器メーカー向け取引が活発化

■ 従来からの取引製品の受注増加に加え

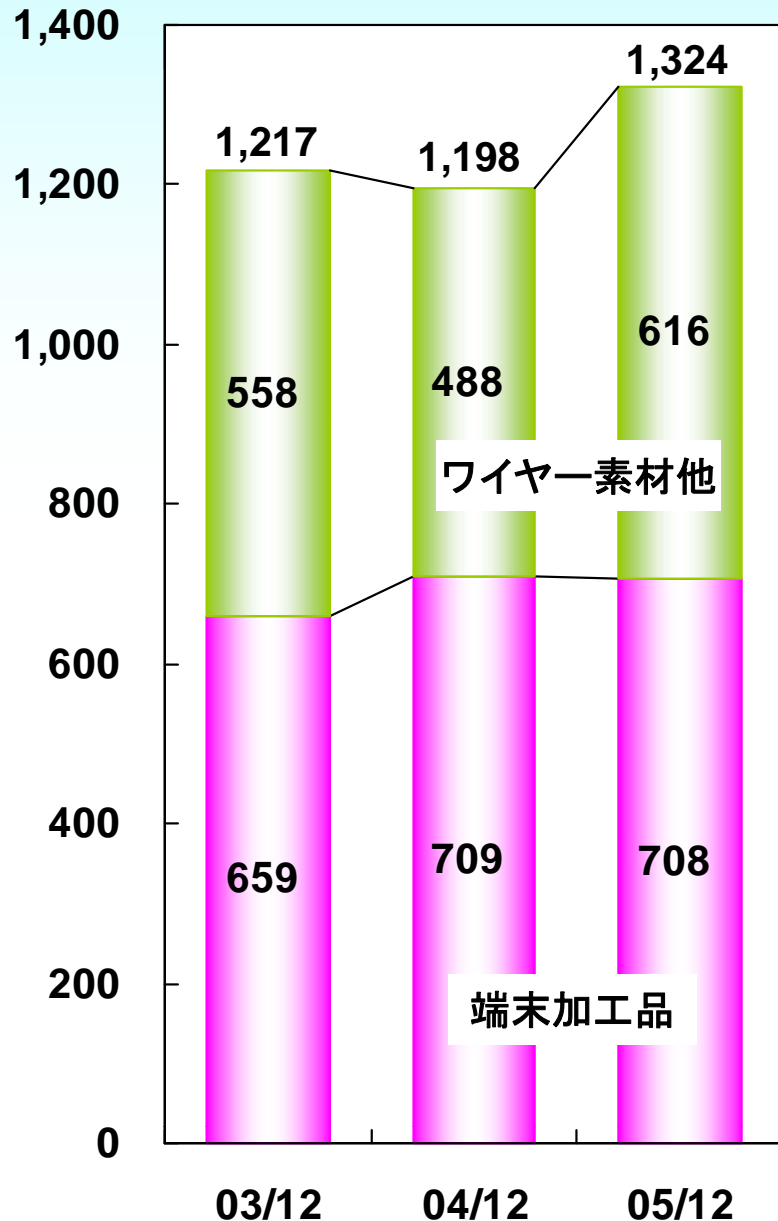
新規取引についても複数増加

- 消化器系カテーテルシステムが増加
- 中心静脈用カテーテルシステムが増加

インダストリアルデバイス事業の状況

(百万円)

【売上高】



～ワイヤー素材の売上が拡大基調に転換～

《端末加工品》

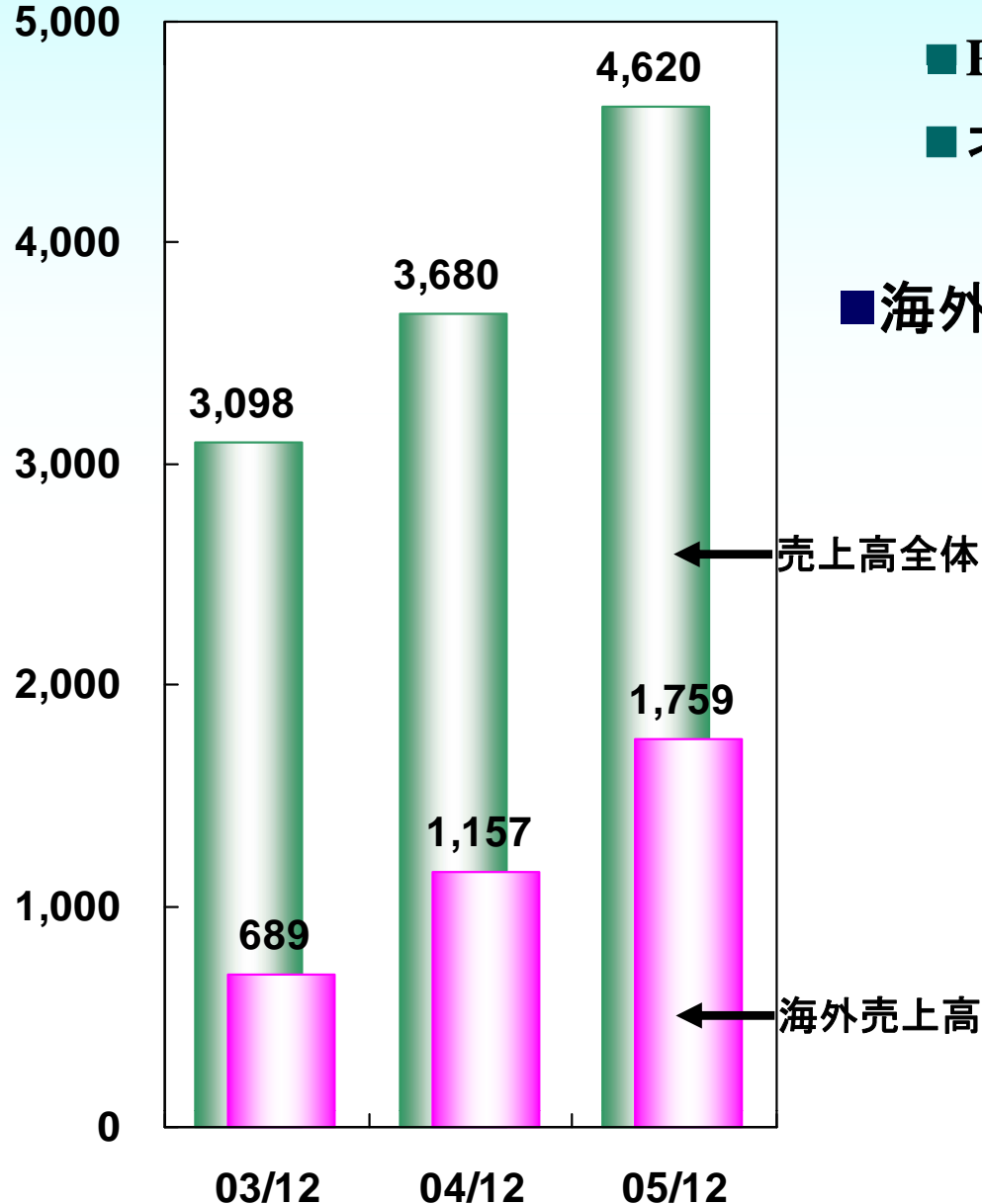
- 海外向け製品は好調を継続
 - レーザープリンター用チャージワイヤーが増加
 - 複写機用チャージワイヤーが増加
- 国内向け液晶関連製品の減少から売上は微減

《ワイヤー素材》

- 自動車関連製品の売上受注増加
セラミックス製フィルターカット用ロープが増加
- 自動二輪車用コントロールケーブルの需要拡大
- 新分野向けの高付加価値製品の受注は好調
 - ラインナップ増強による鮎釣り糸の受注増
 - レジャー市場向け製品の受注拡大

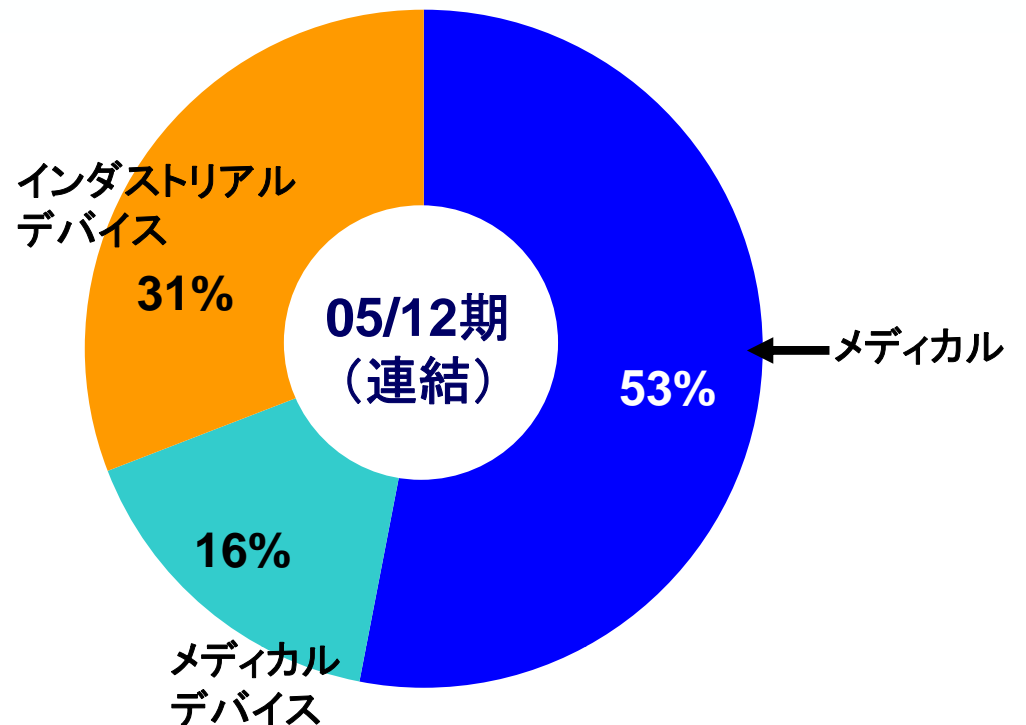
海外売上高の状況

(百万円) 【海外売上高の推移】



- 海外売上高は6億円増加(前期比52%増)
- PTCAガイドワイヤーの海外販売が加速化
- 北米地域の売上が3.4億円増加(前期比1.7倍)
- 海外売上比率は38%(前年同期31%)に上昇

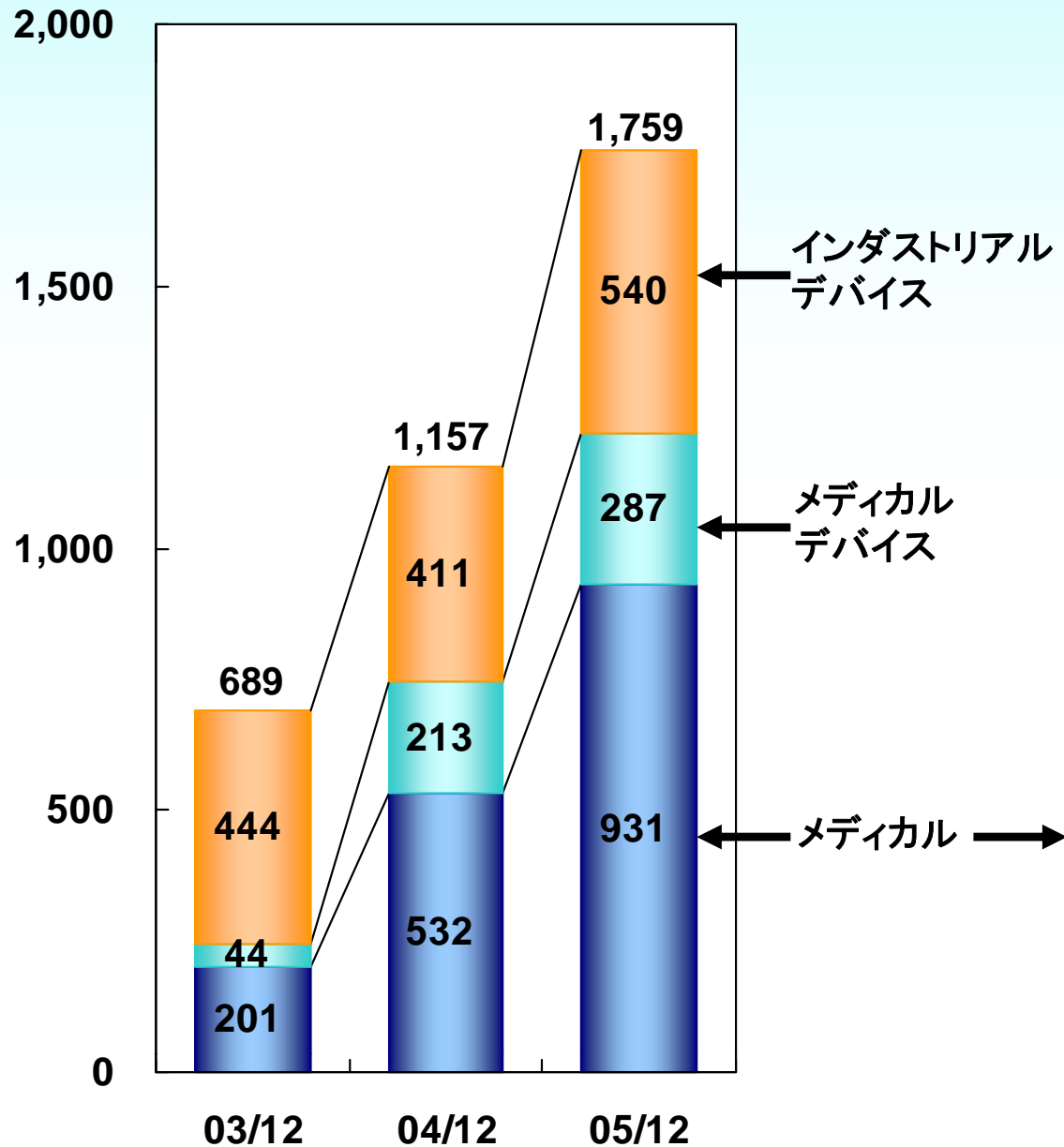
【海外売上高のセグメント別構成比】



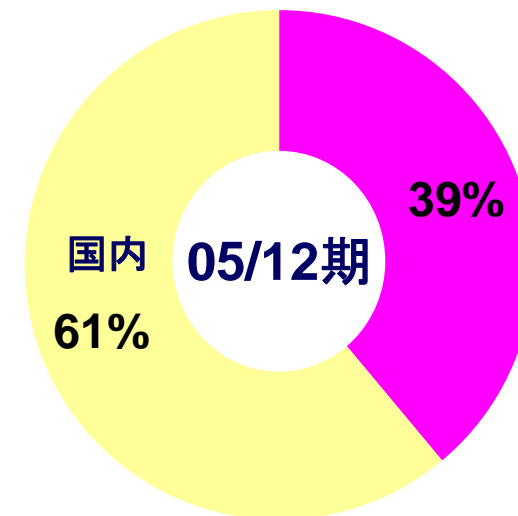
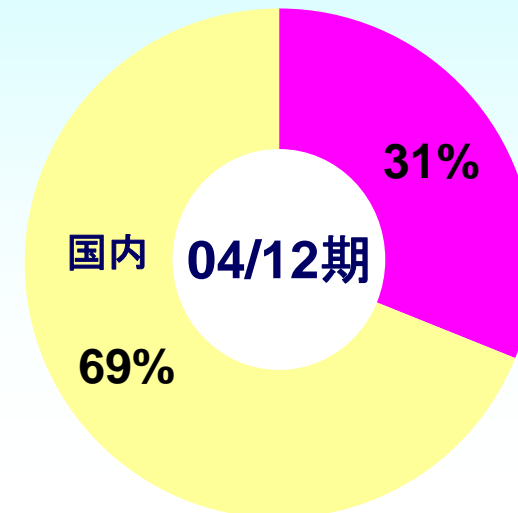
海外売上高の状況(セグメント別)

(百万円)

【海外売上高】



メディカル事業の海外売上比率



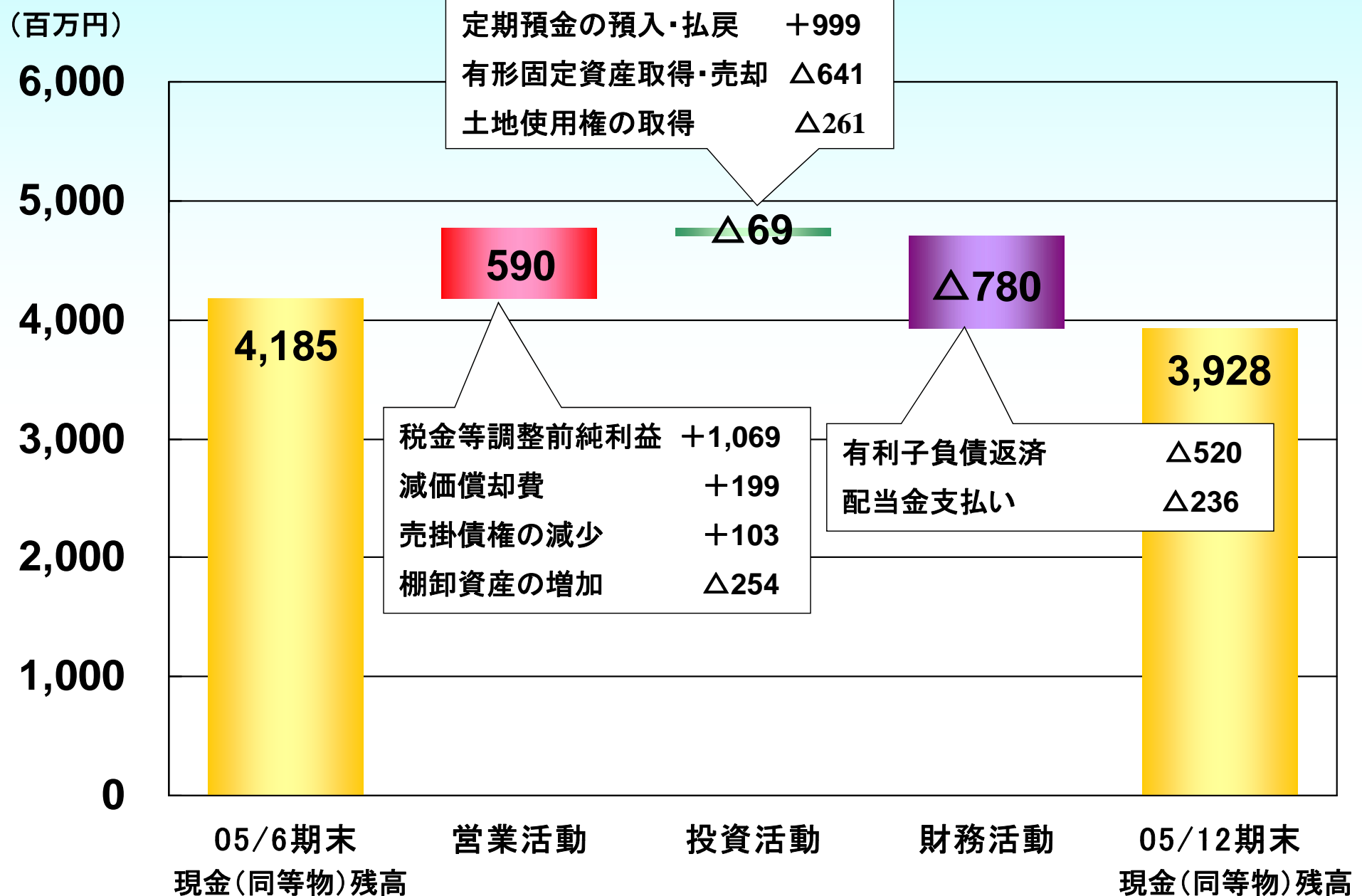
損益の状況 (連結)

	2005年6月期 中間実績		2006年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	3,680	100.0	4,620	100.0	+939	医療機器分野の増収 +813
売上原価	1,626	44.2	1,939	42.0	+313	増産による原価率低減効果
売上総利益	2,053	55.8	2,680	58.0	+626	高付加価値品の売上拡大
販管費	1,342	36.5	1,565	33.9	+222	人件費の増加等
営業利益	710	19.3	1,114	24.1	+403	
営業外収益	9	0.3	35	0.8	+25	受取保険返戻金の増加 +23
営業外費用	76	2.1	25	0.6	△ 50	株式公開費用の減少 △14
経常利益	644	17.5	1,124	24.3	+480	
特別利益	0	0.0	1	0.0	+1	固定資産売却益の増加 +1
特別損失	2	0.1	56	1.2	+54	固定資産除却損の増加 +36
中間純利益	404	11.0	673	14.6	+268	

財務の状況 (連結)

	2005年6月期 期末実績		2006年6月期 中間実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	10,193	67.0	9,165	61.0	△ 1,027	現預金の減少 △1,256 棚卸資産の増加 +258
固定資産	5,029	33.0	5,865	39.0	+835	有形固定資産の増加 +458 投資その他の資産の増加 +402
資産合計	15,222	100.0	15,031	100.0	△191	
流動負債	3,076	20.2	2,805	18.7	△270	短期借入金の減少 △143 未払金の減少 △73
固定負債	1,811	11.9	1,434	9.5	△376	長期借入金の減少 △376
負債合計	4,887	32.1	4,240	28.2	△647	
資本合計	10,335	67.9	10,791	71.8	+455	利益剰余金の増加 +410
負債・資本合計	15,222	100.0	15,031	100.0	△191	

中間連結キャッシュ・フローの状況



目 次

1. 2006年6月期(中間)決算の概要

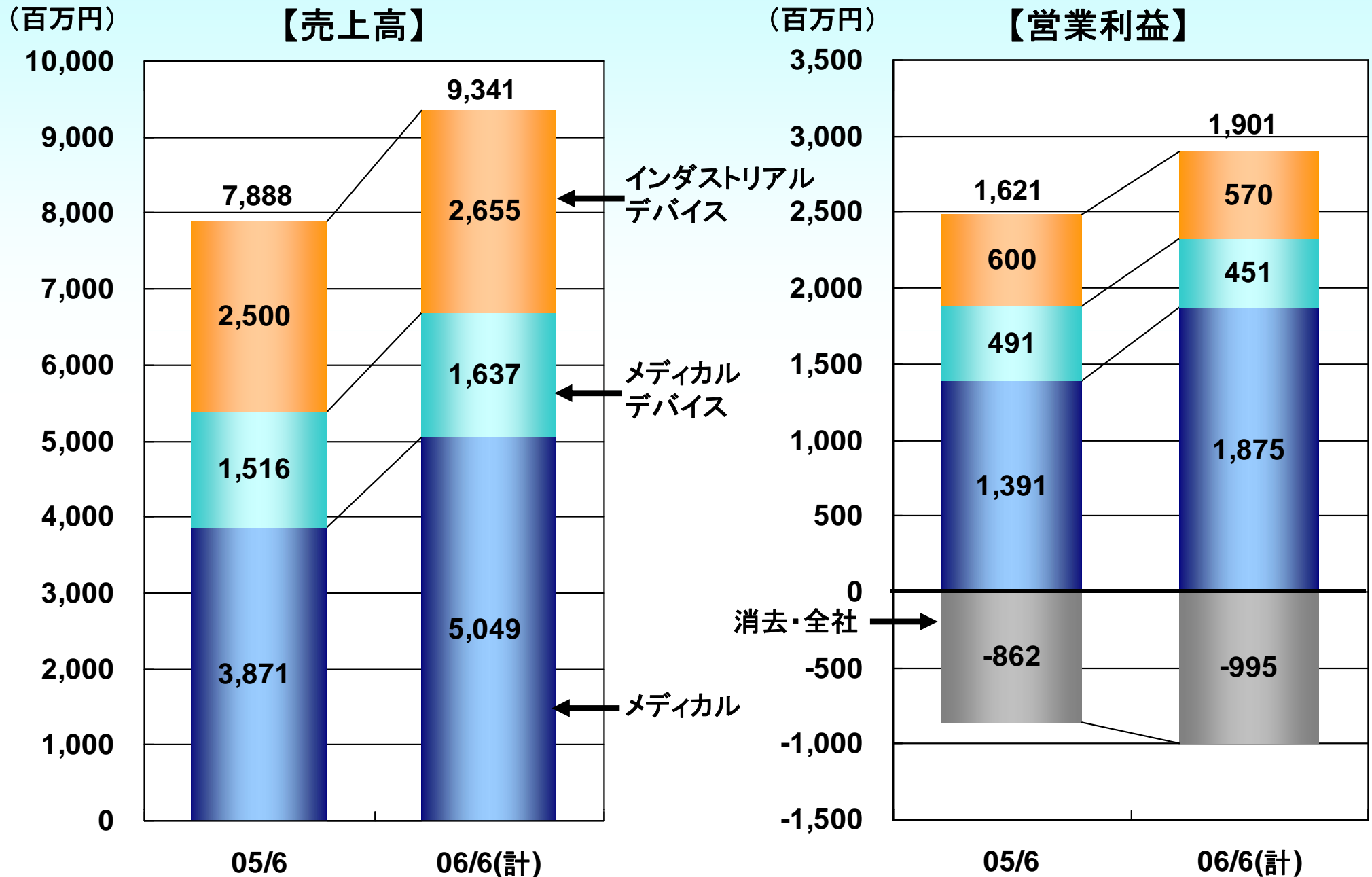
2. 2006年6月期(通期)業績見通し

2006年6月期業績見通し(連結)

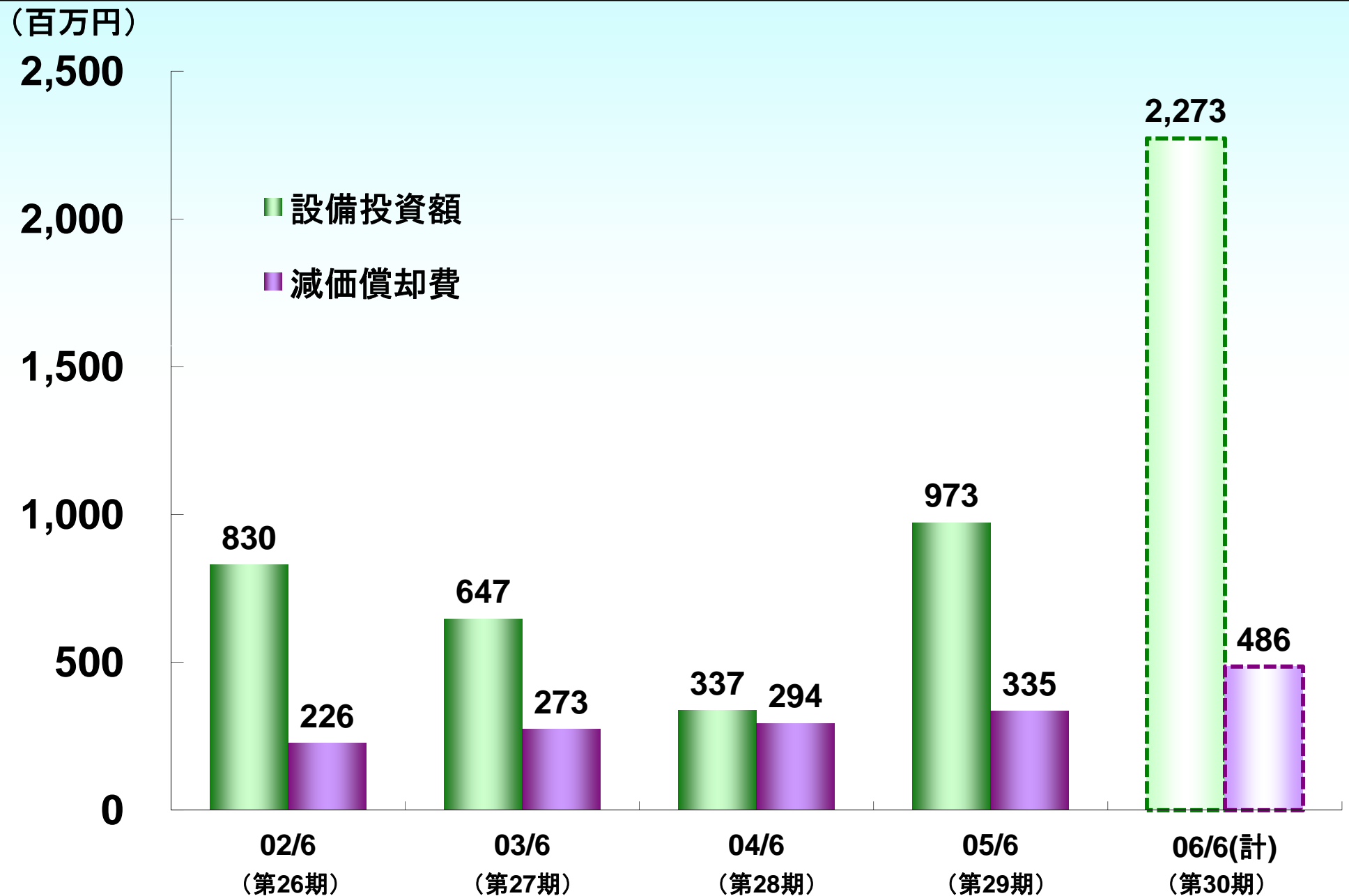
	2005年6月期 実績		2006年6月期 計画				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2005/8/18	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,888	100.0	8,978	9,341	100.0	+1,453	+18.4
売上総利益	4,426	56.1	5,100	5,351	57.3	+925	+20.9
営業利益	1,621	20.5	1,824	1,901	20.3	+280	+17.3
経常利益	1,478	18.7	1,738	1,846	19.8	+368	+24.9
当期純利益	899	11.4	1,027	*1 945	10.1	+46	+5.1
EPS	122.30 円	-	64.83 円	59.66 円	*1 土地評価減の早期適用 (特別損失247百万円)		

(注) 1株当たり予想当期純利益(通期)は、2005年8月19日付の株式分割(普通株式1株を2株)を考慮した
普通株式期中平均株式数(連結)15,852,600株にて算出

セグメント別の収益見通し



設備投資の実績及び計画



本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



 **朝日インテック株式会社**

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>